

八脈交会穴（八総穴・八宗穴）

陰維脈	内関(心包)	—	衝脈	公孫(脾)
陽維脈	外関(三焦)	—	帶脈	足臨泣(胆)
陽蹻脈	申脈(膀胱)	—	督脈	後溪(小腸)
陰蹻脈	照海(腎)	—	任脈	列欠(肺)

いい内科に、衝撃の孫

酔い外科で、タイ人足泣く

余興しんみり、得な苔

隠居の照美は、忍者と決裂

【八脈交会穴とは】

奇経八脈の主治穴(総穴,宗穴)であり,正経十二経脈と奇経八脈とが密接に関係するところである。

奇経にはそれぞれ,主治とする病証がある。それらの病証に対して,個々の奇経を治療対象とする方法もあるが,多くは,2つの奇経の上肢と下肢にある宗穴を1対の組み合わせにして治療に用いている。

補足：意義、特徴

陰維脈	諸陰の交に起こる	—	衝脈	経脈の海・血海・胞中(女子胞・子宮)に起こる
陽維脈	諸陽の会に起こる	—	帶脈	身を一周して諸経を束ねる
陽蹻脈	足の太陽膀胱経の別脈	—	督脈	陽脈の海
陰蹻脈	足の少陰腎経の別脈	—	任脈	陰脈の海